



通信

HP 学校だより
R4. 7. 20
NO. 17
文責 伊藤美佳

しめくりをしっかりと そして夏休みは成長のチャンス

7月20日(水)は1学期終業式です。そして、42日間の夏休みへと入ります。1年生の子どもたちは、初めての通知表をもらい、初めての夏休みを経験します。1学期はどんな「学び」ができたのでしょうか。ぜひ夏休み前に、お子様とともに振り返っていただければと思います。

「学び」とは、国語、算数、理科、社会・・・といった教科だけではありません。学校への登下校、学級のみんなどの生活、異学年での活動、見守ってくださる地域の方との交流など、日々の様々な場面にあります。

例えば、朝、児童玄関前で「おはようございます」と「あいさつ運動」をしている代表委員会の子たちがいます。代表委員会の子たちは「あいさつ」を「㊦かるく」「㊧つでも」「㊨きに」「㊩たわるように」しようといつも玄関で挨拶をしてくれます。代表委員会の子たちと挨拶をしているうちに、「挨拶すると気分がいいな」「挨拶をされると気持ちが明るくなるな」という学びがあったかもしれません。そこから、その子の挨拶が変わったとしたら、大きな学びだと言えます。

19日の大掃除では、廊下、階段の床やトイレの便器を磨いてくれたり、机や椅子の脚についたゴミもとってきれいにしたりできました。上級生の子から雑巾の絞り方を教わったり、トイレの便器にこびりついている汚れと戦ったりと多くを学んだことでしょう。きれいになった掃除場所を見て、達成感を感じた子も多いと思います。ちょうど大掃除の時に大雨が降り、運動場から校舎の周りが水浸しになった光景も目にしました。「宮城県の大雨ってこういう雨だったんだね。」と洪水の被害にあったニュースと自分が見ている光景を結びつけて考えている子もいました。これも、その時だからこそ学べたことです。

夏休みは、機会を捉えて多くの経験をし、更に成長できるチャンスです。お手伝い、お家の仕事、どんなことでも学びにつながります。そして、体験したことは子どもにとっての大きな自信となります。



健康と安全に気をつけて、夏休み明けには心も体もたくましくなった豊坂っ子に会えることを楽しみにしています。

